

にわせはちまんじんしゃ
庭瀬八幡神社

H-4
備中吉備津神社旧記によると「備中庭瀬八幡」と記されており、庭瀬郷総鎮守あるいは備中国八幡として尊崇されています。祭神は誉田別命(応神天皇)・息長帯姫命(神功皇后)・玉依姫命などです。



(岡山吉備地区今昔双六(吉備地区地域活性化推進実行委員会企画・編集・発行)より)

おかやまけんこだいぎび
岡山県古代吉備文化財センター

E-5
岡山県は、古代吉備文化発祥の地として貴重な埋蔵文化財が数多く残されているところで、当センターでは、発掘調査、研究、展示を行い、埋蔵文化財への理解増進と保護思想の普及に努めています。



こうれいてんのうのおうじ
孝霊天皇皇子
大吉備津彦命御陵

E-5
吉備中山、有木谷の南の峰にある全長約150mの前方後円墳です。明治のはじめ、陵墓指定地となり、現在は宮内庁が管理しています。吉備津彦については多くの伝説が残っていますが実像については明らかではありません。



(岡山吉備地区今昔双六(吉備地区地域活性化推進実行委員会企画・編集・発行)より)

きびのなかやまゆうほうどう
吉備の中山遊歩道

E-4
ふるさとの坂道をテーマに整備されました。緑深い吉備中山の散策道として市民に親しまれています。平成2年度には、手づくり郷土賞を受賞しています。



(精選手づくり郷土賞Part9より)

ふけいん
普賢院

D-4
吉備津神社には、神仏混合時代の社僧がいくつかありましたが、普賢院だけが御手洗池のそばに現存して旧観をとどめています。盛期には宮内中に末寺数箇所がありましたが、江戸時代から明治時代にかけて何れも普賢院に合併されて廃寺となりました。仁王門は、江戸時代の文化年間(1804~17)に総社市新山から移したものと伝えられ、棟札も記録もありませんが江戸時代初期の建造物とみられています。



(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

Bルート《JR吉備津駅》

まかねいちりづか
真金一里塚

C-4
江戸時代には、諸国の主要な街道に道標を示す塚が一里(4km)ごとに築かれ、一里塚と称されていました。この地の一里塚は旧山陽道(西国街道)を挟んで南北対の塚があり、北塚に松、南塚に櫻が植えてあり、往時の様相を良好に今日まで伝えてあります(現在の木は後世のもの)。この一里塚は直ぐ西に宿場町の板倉宿が開け、岡山城下町からは西に二番目にあたります。昭和3年に国の史跡に指定されたが、その当時この地が真金村であったことから真金一里塚と呼ばれるようになりました。



(現地解説板(岡山市教育委員会、昭和62年12月)より)



岡山市には、温暖な気候に育まれた自然が多く残り、吉備の国のもたらした古代の歴史資源をはじめとする数々の歴史的、文化的遺産も多く、四季折々の風物も豊かです。しかし、車社会と呼ばれる今日では歩くことが少なくなり、これらの貴重な資源に触れる機会が減少し、歩くという健康的な活動から遠のいていくといえます。このような状況を改善するため、岡山市では環境にやさしいまちづくりを進める一環として、ふるさと岡山をゆっくり歩き、身近な自然とのふれあいの場を提供する遊歩道の展開に向けて「岡山市遊歩道ネットワーク(てくてくロード)」を策定しました。遊歩道ネットワークが広く市民に活用され、ふるさと意識の醸成、歴史文化財への理解、さらに健康づくりに貢献することを願っております。

ルート内の主な公共施設

| | | | |
|--------|-----------------|-------------|-----------------|
| 吉備文庫 | TEL086-293-0038 | 一宮地域センター | TEL086-284-0501 |
| 一宮駐在所 | TEL086-284-0110 | 吉備地域センター | TEL086-293-1111 |
| 梶木病院 | TEL086-293-3355 | 岡山吉備津郵便局 | TEL086-287-3000 |
| JR庭瀬駅 | TEL086-293-0049 | 岡山白石郵便局 | TEL086-241-6856 |
| 岡電バス | TEL086-223-7221 | 備前一宮郵便局 | TEL086-284-0100 |
| 中国JRバス | TEL086-293-0472 | 岡山県立大養木堂記念館 | TEL086-292-1820 |
| 中鉄バス | TEL086-222-6601 | 古代吉備文化財センター | TEL086-293-3211 |
| 西備バス | TEL086-232-2116 | RSKバラ園 | TEL086-293-2121 |
| 吉備公民館 | TEL086-293-2170 | | |
| 吉備郵便局 | TEL086-293-1000 | | |

岡山市遊歩道ネットワーク
《てくてくロード》
吉備中山ルートマップ

第4版：2013年(平成25年)3月発行
岡山市

お問い合わせ
岡山市都市整備局道路計画課
TEL086-803-1695



こっきょうせき
国境石

B-4
中鉄バス境目停留所の西100mの所にある「従是東備前国」と大きな文字がほりこまれた石柱です。これは、元禄12年(1699)に建てられたもので、ここが備前・備中の国ごかい、吉備津・一宮の境界線となっています。



(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

きびつひこじんしゃ
吉備津彦神社

C-6
吉備津彦神社は、西の吉備津神社と同じく吉備津彦命を祭神とし、延喜式にこそ記載はありませんが、東から一直線に伸びた表参道が、糸里の東西線の一辺に当たるという事実から創立のふるさが推測できます。そして、いつごろから備前一宮として広く尊敬を受けてきましたが、16世紀末期永禄9年(1566)西備前に勢力を誇る金川城主松田氏から迫害を受け、社殿いっさいを焼き払われました。その後、近世に入り元禄10年(1697)にいたり、備前藩主池田綱政によって再建されたが、昭和5年の火災で本堂、随神門と宝物殿だけを残して大部分の社殿が焼失しました。現在の社殿は、その後再建したものです。



(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

こやすじんしゃ
子安神社

B-6
子安神社は、吉備津彦神社の摂社であり、元禄10年(1697)に池田綱政によって再建された現在の吉備津彦神社本殿よりも古い建物です。「吉備津彦社記」などによれば、晩年の池田光政は健康がすぐれなかったため、その健康を祈願するため、娘の六姫が発願し、光政の生母福生院の手によって、この子安神社を備前一宮の境内に建てました。



吉備中山ルートは、庭瀬・撫川城跡をはじめとする近世の歴史にふれる庭瀬・撫川ゾーン、その北に広がり、「話せばわかる」で有名な大養木堂生家、吉備津神社とゆかりの伝養陽氏館跡がある田園集落ゾーン、自然豊かな吉備の中山ゾーン、また、吉備の中山北山麓に広がる吉備津神社、吉備津彦神社をはじめとする吉備の歴史ゾーンに大きく分けられます。そのため、地区の特徴を活かしたルートを選択できます。おすすめのAルートは約6.9km、Bルートは約7.2kmです。



庭瀬、撫川ゾーン

犬養木堂ゆかりの地と広大な田園風景

田園集落ゾーン

吉備古代の歴史を物語る吉備津神社

吉備の歴史ゾーン

吉備の国にまつわる歴史と自然豊かな環境

吉備の中山ゾーン

寛文12年(1672)7月の事でした。奥の本殿は、桁行一間、梁間一間、檜皮葺で花崗岩の亀腹の上に建てられています。流れ造りの屋根の前後に伸びた弛みない曲線、五七桐や臺股の形状、句欄柱の擬宝珠の姿などに、なお桃山調の様式を残しています。外袋に丹や胡粉を塗り、また破風下には無懸魚を吊すなど、全体を華麗な社殿に仕上げられています。手前の拝殿は、桁行三間、梁間二間、入母屋造りの銅板葺の建物で、正面には「子宮宮」と全文字で書いた神号額が掲げられています。

(現地解説板(平成2年3月、岡山市教育委員会)より)

ふじわらなりちかひせき
藤原成親遺跡

(岡山県指定史跡) C-5
京都、鹿ヶ谷において僧俊寛とともに平家追討の密議にやぶれ、俊寛は鬼界島へ、藤原成親は治承元年(1177)この地「有木の別所」に流されました。成親は、有木山の中腹にある山寺(今なお十数個の礎石をのこす高麗寺か)で配所の月を眺めるうち非業の最期をとげたといわれています。成親の供養の石塔は、荒れ果てていましたが、明治43年整備され現在に至っています。幕末の万葉調歌人として広く知られる、平賀元義は、この地での成親の最期について「あたらこの成親がごときよき臣を有木の山のうもれ木にして」とうたっています。



(現地解説板(岡山市教育委員会、昭和62年3月)より)

はなづか
鼻ぐり塚

C-4
福田海は、修験道の系統をひき独特の宗教活動を行っている寺院ですが、この境内に鼻ぐり塚と称する特異な塚があります。これは、6世紀の後期古墳の横穴式石室の上に、何万という牛の鼻ぐりをあたかも築山のよう積み上げ、動物の霊を供養しているものです。



(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

Aルート《JR庭瀬駅》

ふへんいん 不変院

J-4

庭瀬城跡から東方に不変院本堂があります。城跡からコの字型に狭い道路を約



500m進むと正面に門が見え、その手前には大きな法界様が立っています。ここが覚如山不変院で日蓮宗の寺であり、通称大坊と呼ばれています。この寺は城院日鳳上人によって開かれたもので、本尊は日蓮上人の定めた大曼陀羅御本尊です。また、この寺は庭瀬の開祖である戸川肥後守達安公の菩提所です。境内の一角にある墓所には戸川家のりっぱな五輪塔二基がひととき目立っています。

(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

にわせじょうあと 庭瀬城跡

J-4

撫川城跡の隣り約300m東方に水をたたえた堀の石垣が庭瀬城跡です。この地



は普通お屋敷とか邸内といわれ、城下にちなんで呼び名となっています。徳川家康国内統一後、戸川肥後守達安公2万9千石の居城でした。その後時代とともに藩主は何度も変わり、現在では板倉藩旧庭瀬城跡と呼ばれています。

(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

なつかわじょうあと 撫川城跡

J-3

広々とした水田の中に堀りに囲まれたこんもりした森が平城としては県下では



珍しい撫川城跡です。これは、永禄2年(1559)備中松山城主三村元親が備前宇喜多直家に備えて築城したものとされています。その後備中高松城の水攻めの役などを経て、宇喜多氏の領地になったが、城番をおこなったため廃城となりました。しかし、関ヶ原の戦の後、功績のあった戸川肥後守達安公が2万9千石で庭瀬藩主となりました。ところが、戸川家4代の安風は跡継ぎがなかったために領地は没収されました。延宝7年(1679)になって弟の戸川達富が安風の跡目相続をし、撫川5千石に封ぜられました。このとき城郭を割り、本丸と三の丸を合わせて撫川城としました。

(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

アールエスエイ RSKバラ園

I-1

3万㎡の同心円型花壇に250品種、5万株のバラが植えられた日本で最大級の



バラ園です。ほかにもボタン園、梅園などがあり、こどもひろばにはちびっこアスレチックも設けられています。

(現地解説板より)

いぬかいぼくどうせいか 犬養木堂生家

H-2

犬養毅(木堂)は、安政2年(1855)この地に生まれました。明治23年(1890)



36歳で衆議院議員に初当選し、以後、憲政擁護運動の先頭にたちました。昭和6年(1931)内閣総理大臣となりましたが、翌年の5月15日首相官邸において凶徒に襲われ、「話せばわかる」の言葉を最後に志なげにして没しました。犬養家は、代々庄屋や藩の要職を努めた農家で、この生家は江戸時代中期に建てられたものです。この地方の近世民家の代表的なものとして価値が高く、国の重要文化財に指定されています。老朽化がはなはだしかったため、昭和54年(1979)解体復元したものです。

(現地解説板(岡山県郷土文化財団、岡山県)より)

いぬかいぼくどうせいかん 犬養木堂記念館

H-2

この記念館は、平成5年10月に開館したもので、平和を愛し、平和に殉じた



岡山県の生んだ大政治家・犬養木堂翁の足跡をしのぶ遺品、遺墨、写真、手紙等を展示しています。展示資料は、木堂翁の子女多田信子氏、孫の犬養道子氏、犬養康彦氏から寄贈、寄託を受けたもの、木堂翁の顕彰に力を尽くされた秋田市の故郷尾よし子氏をはじめ木堂ゆかりの方々から寄贈されたものです。

(犬養木堂記念館パンフレット(犬養木堂記念館・岡山県郷土文化財団)より)

すざのおじんじや 須佐之男神社

H-3

中撫川の新屋敷地内に鎮座する旧撫川町(納所、大内田を除く)の産土神です。祭



神は、病除の神として崇信されている須佐之男命です。

(岡山吉備地区今昔双六(吉備地区地域活性化推進実行委員会企画・編集・発行)より)

おうとくし 應徳寺

J-3

清光山應徳寺(臨済宗)で開祖は別峰大殊円光国師です。建立は元久2年



(1205)です。本尊は薬師如来です。

(岡山吉備地区今昔双六(吉備地区地域活性化推進実行委員会企画・編集・発行)より)

にわせ ふる 庭瀬の古いまちなみ

J-3

岡山市の西部足守川の東方にあり、古代は児島の北



の海がこのあたりまで湾入し地名の由来となっています。天正10年(1582)、羽柴秀吉による備中高松城水攻めの時は、毛利方の庭瀬城がありましたが、のち宇喜多、戸川、久世、松平と領主の交替がありました。その後、元禄12年(1699)板倉重高が、信濃から移り、以後明治までは板倉氏の領地でした。藩主の館を中心にして侍屋敷、職人町、町人町がつくられ、陣屋町としての町並みを形成していました。旧庭瀬港は、内海航行船の通航上限の川澳にあたり、水陸交通の便がよく、備中東南部の物資集散地として繁栄しました。また、港から北へ約100mにある庭瀬街道は、岡山下と笠岡を結ぶ、一名鴨方往来とも呼ばれた主要な街道でありました。

(岡山市景観資源基礎調査報告書(岡山市発行、文化的都市づくり研究センター企画・編集、昭和59年3月)より)

しんじょうじ 信城寺

I-3

法正山信城寺(日蓮宗)です。寛永元年(1624)3月に創立しました。開山は信



城院殿日友尊尼です。

(岡山吉備地区今昔双六(吉備地区地域活性化推進実行委員会企画・編集・発行)より)

しょうりんじ 松林寺

J-4

不変院から約100m程北方に松林寺があります。当



山山門の脇には「不許葦酒入山門(くんしゅさんもん)にいるをゆるさず」と文字を縦書きに刻んだ石柱が立っています。当寺は臨済宗東福寺派に属しており、本尊として地藏菩薩を祭っています。暦応2年(1339)、大殊円光国師により創建されたもので、開基は白幡城主赤松円光によってなされています。さらに、元禄15年(1702)には板倉重高公の菩提所となっています。また、当寺には、「絹本著色開山別峰国師頂相(絵画)」(岡山県指定重要文化財)があります。

(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)

Aルート《JR庭瀬駅》

Bルート《JR吉備津駅》

きびつ まつなみき 吉備津の松並木

C-3

吉備中山の北西麓にある吉備津神社参道両側に生育



する松並木は、県下で最大の松並木となっています。道路沿線景観として、又、吉備史跡県立自然公園区域にある吉備中山に接する吉備路の代表的風物となっています。この松並木は、すぐれた郷土の記念物として岡山県自然保護条例の規定に基づき指定されたものです。

(現地解説板(岡山県)より)

きびつじんじや 吉備津神社

D-4

第10代崇神天皇の御代に、四道將軍として吉備国に派遣された吉備津彦命を祭神とし、古来吉備地方の総氏神として崇敬されています。現在の本殿及び拝殿は、応永32年(1425)に完成しました。本殿は、比翼入母屋造とよばれます。独自の様式の大建築で、拝殿と共に国宝と指定されています。また、延文2年(1357)再建の南随神門と天文12年(1543)再建の北随神門は、共に国の重要文化財、鳴釜神事の行われる御釜殿は慶長17年(1612)の建築で岡山県重要文化財に指定されています。



(現地解説板より)

ふじいたかなおたいじん 藤井高尚大人の

D-4

贈正五位藤井高尚先生は、江戸時代後期の偉大な国学者です。明和元年(1763)吉備津宮の代々の社家頭の家に生れ、のち本居宣長に入門、その高弟となりました。中国を初め京坂、四国に多くの門人を作り松屋社と称しました。王朝文学を専攻し、古今集新釈、伊勢物語新釈、松の落葉、松屋文集など30巻以上の著書をつくりました。天保12年(1842)77才をもって卒しました。大人歿後百年に当り昭和15年7月、有志この碑を建ててその徳を頌しました。



(現地解説板より)

きび じょうやとう 吉備の常夜灯

E-3

吉備津神社から南へ約700m行った所に、運航の歴史を留める常夜灯があります。これが、吉備の常夜灯です。



しんによいん 真如院

F-4

賀陽氏旧邸跡から東の山麓に目をやるとお寺の大屋根が見えます。これが、天台宗東林山真如院です。この寺は、滋覚大師によって開かれたもので、開山は和銅(708~714)年中のことです。そして、阿弥陀如来が本尊として祭られています。この木造阿弥陀如来立像は、昭和34年3月27日に岡山県重要文化財に指定されました。この像は高さわずか53cmの小さな寄木造りですが、この像の頭部内側に書かれていた銘文から鎌倉時代の宝治2年(1248)に開眼されたことが明らかになりました。



(岡山市の歴史みであるき(岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月)より)